

旧河陽鉄道(現近鉄・道明寺線)土木遺産

下記構造物が、「近鉄道明寺線鉄道構造物群」として「土木学会選奨土木遺産」に認定されている。

- ◎ 大和川橋梁
- ◎ 奈良街道陸橋
- ◎ 第2号溝橋
- ◎ 第1号溝橋



認定説明板



認定銘板

【大和川橋梁】

旧河陽鉄道(1898年(明治31年)営業開始)建設時に架橋された橋で、近鉄で最も古い橋梁である。

橋長216.4m、11径間の上路鋼桁橋で、建設当初は橋脚は鋼鉄パイプであったが、1937年(昭和12年)にコンクリートを巻いて補強された。



左岸からの橋上景観



右岸からの橋上景観



全景(右岸上流側から)



全景(右岸下流側から)



側面(右岸下流側から)



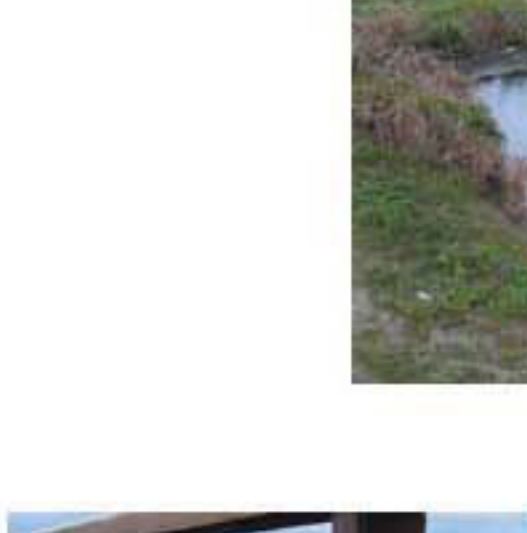
左岸上流側から



左岸橋台部



橋脚



橋梁ポスト



橋桁製造プレート

【奈良街道陸橋】



橋上景観



大和川上流側



大和川堤防より(上流側)



大和川下流側



大和川堤防より(下流側)



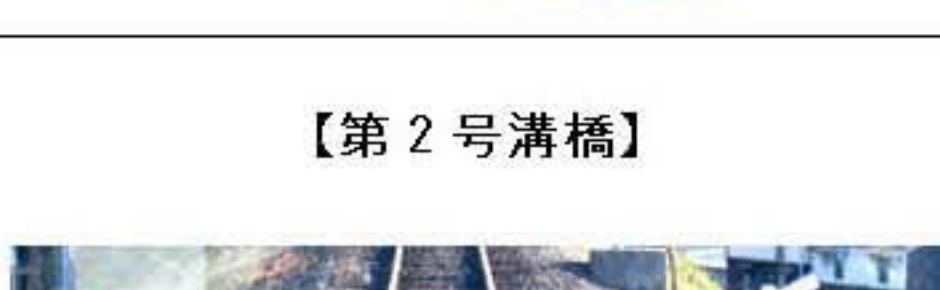
道明寺方橋台



柏原方橋台

(橋台の煉瓦は **イギリス積み**)

【第2号溝橋】



橋上景観



大和川上流側



大和川下流側

(橋台の煉瓦は **フランス積み**)

【第1号溝橋】



橋上景観



大和川上流側



大和川下流側



橋台角

(鉄道と道路が直角交差していないので、橋台の角の煉瓦が交互に削られている)

(橋台の煉瓦は **フランス積み**)